

三尾
重定
編輯

新編
小學讀本
第五

178
4
93

館藏書會育教本日大			
三	二	三	六
九	五	三	六
册	號	架	函

檢定合格本

K110.82
68b-
7

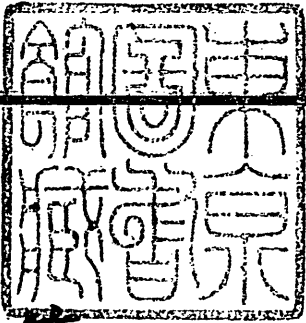
三尾重定編

新編小學讀本第五

東京 教育書院藏

明治二十年二月四日內務省文部
12559
評教員會

新編小學讀本第五



三尾重定 編

汝ハ物をかぞふる本とを
一得る。以ま父より十六の

新編小學讀本 第五
教育書院

みかんをたまはりて。我ら三人ふて。わらちとれよと命ぜらまぬ。一人のとる所。以くばくなりや。汝よる。くはかりみるべし。わき是をかん。へみるに。十

六ふて。三人ひとりくわかつ。ととを得。六つ。とらん。とすれ。二つ。たらす。四つ。わかつて。四をあませり。故に一人五をとりて。あまる。一を。少第たまに。ま。あたふべし。

かぶの中。に。た。こ。三。び。き。あ。り。
蛸。よ。い。そ。の。足。八。本。あ。る。を。三。
あ。い。す。ま。む。幾。あ。り。や
わ。ま。今。日。學。校。ふ。て。九。九。の。よ
び。こ。忍。を。ま。な。び。き。た。れ。り。さ
ま。む。此。た。こ。一。足。ふ。し。て。八。本

づ。の。足。あ。ま。ま。む。ま。な。い。ち。三
八。二。十。四。本。な。る。べ。し
今。日。い。大。祭。日。に。て。家。ご。と。に。
ひ。の。丸。の。旗。を。た。て。御。代。は
ん。ざ。い。を。祝。ふ。な。り。か。ゝ。る。め
で。た。き。世。に。う。ま。れ。て。お。の。く

業を以どおむと云は。げ又あ
里がとき事ならむや

第二

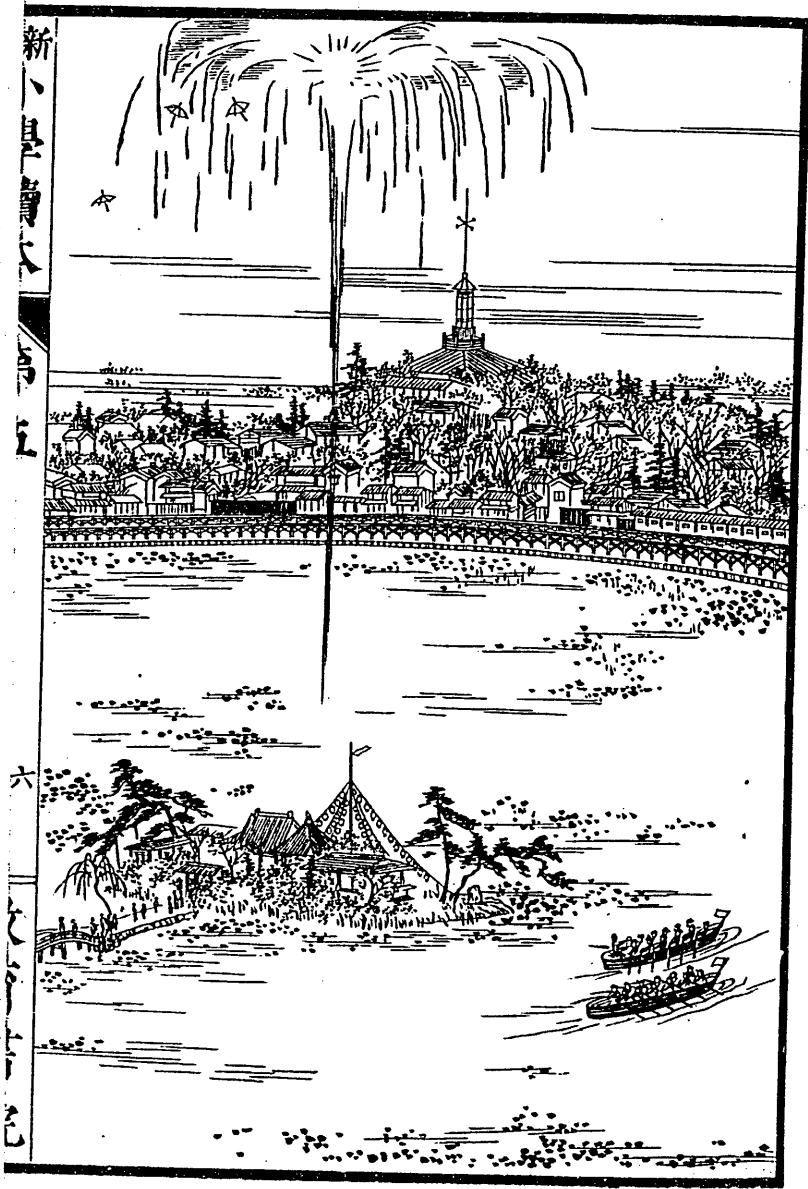
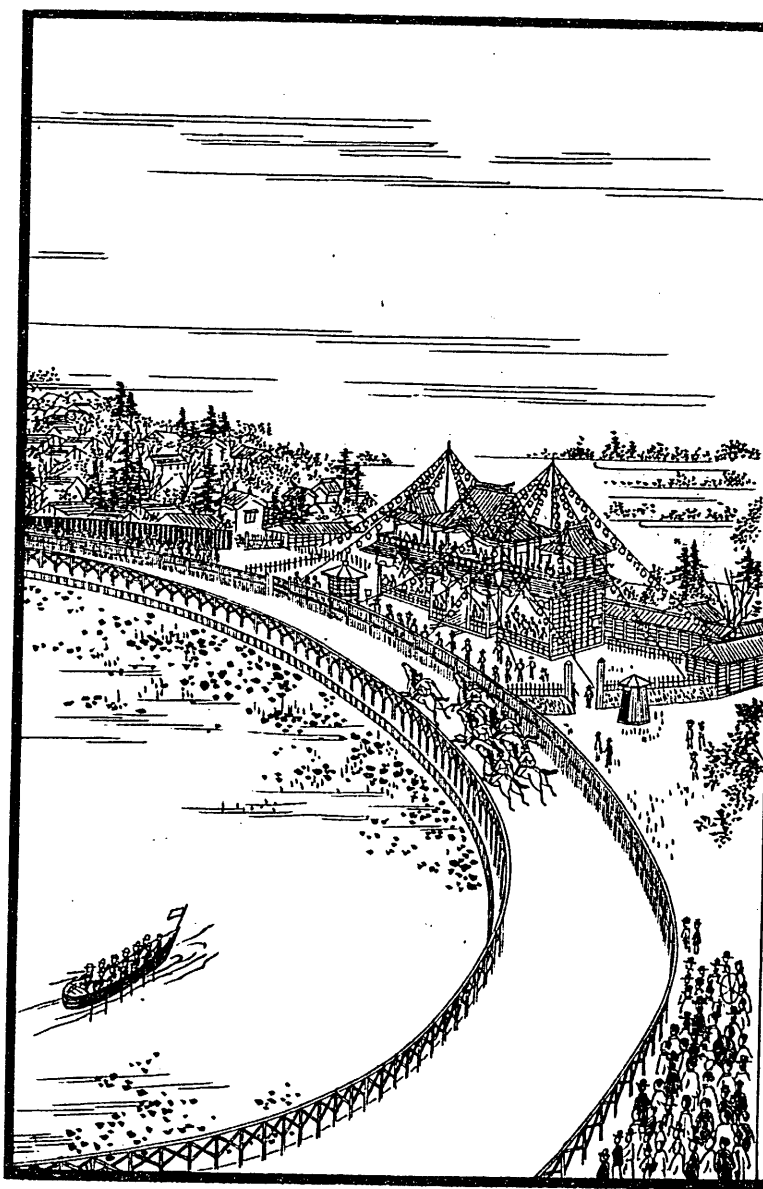
人ノ身ニ。無用ナルトコロハ。
ナキハヅナレドモ。殊ニソノ
要用ナルハ。耳。目。口。手。足ナリ。

シカルニ。耳ト目ハ。ニッアリテ。
手足モマタニッアリ。口バカリ
一ッナルハ。何エエヅヤ。汝ラコ
レヲ。カンガヘミヨ
我ひそかに。思ひみるに。常に
見る志と聞く志との。多から

ざれば。善と惡とを。わらつこ
とあこを。ぬ。おれ耳目の。二を
要する。ゆる急なるべし
人の大てい。はたらかざいあ
るべからず。是まゝ手足の。二
あるべき。ゆる急なるべし

木や木の多きい。あゝきなり。
こま口の。一なるべきゆる急
るべし

左ニエガケルハ。東京ウへ野。
公園地ノ傍ナル。不忍池ノ。競
馬ノ圖ナリ



池ノマハリニハ。柵ヲウエ。池
ノ中央ニ。天女ノヤシロアリ。
祠ノウシロニ。木炮ヲウエテ。
烟火天ニ漲リタリ。眼ヲサダ
メテ。コレヲ睹ルニ。禽獸。蟲魚
ヲ初メトシテ。玩器の類ヒ。烟

ノ中ヨリ。顯レ出テ。風ノマニ
ク。飛ビユクナリ
マタ。馬場ヲ望ミ見レバ。アマ
タノ壯士。駿馬ニマタガリ。ム
チヲ揚テ。アラソヒ走ルハ。ゲ
ニ勇マシキ。景状ナリ。

第三

汝木の木を看よ。木のれい海棠
なり。春の雨に。雨を帯と
る。うつくりさの。亦たぐひあ
らざりに。今の。霜風に吹き
さらさきて。枯木をみるの如

くなり

人も亦かくの如く。その盛り
を。まぎぬる時。眼はうとく。
齒はぬけて。耳はあれども。ま
く木をを得ず。手は志びれ。足
はふるひて。見る影もまなく。な

りゆきてい。又せんまべも。あ
まもの故に。あらかとめ。老の
まさに至んとまるをはるま
て。學業をまげみ。智識をひら
き。我身のまをよ。子孫まで。
世を安樂に。まぎんことを心

かく履き。事ならむや
學校ニ入ルト雖。ソノ業ヲ怠ル
モノハ。寶山ニ登リ。手ヲ空ウ
シテ。カヘルガ如シ
習ヒ誦ムト雖。コノ口ニ入ラザ
レバ。夢ニ。妄言スルガ如シ

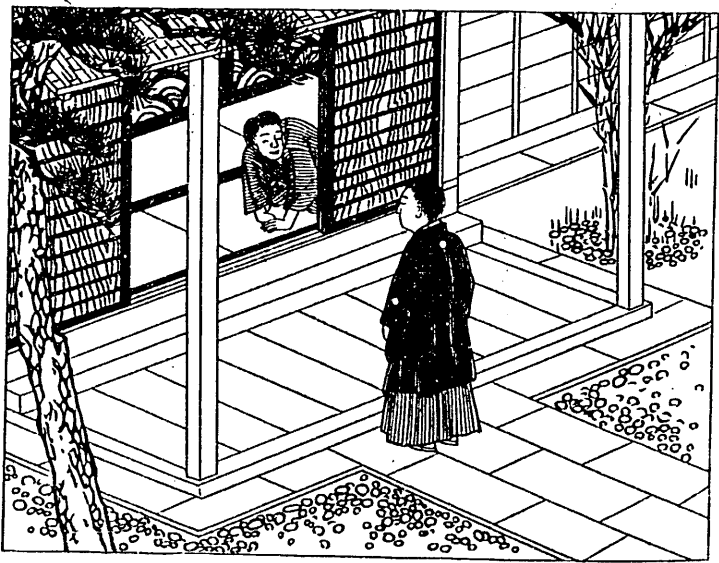
第四

まべて人ふハ。信實をもつて
交るべし。仮に毛虚言を以ふ
べからず。人と約束をなした
きて。たほくおのまに。不利な
るまやある。或故障のまと

など。以て來るときハ。他事に
托して。其約をたがへ。又ハ病
と稱して。其盟をやぶるまと
あり。まき交際の常ふして。人
も咎めま。我もはぢま。敢てま
まるに。介せざれども。是をま

ちどろき。惡習なり。其事ふい。
 大小輕重の差ひあまごも。虚
 構の責い。のがまがとく。必ま
 さに。報應あるべし
 ムカシ。一人ノ虚構者アリ。毎
 ニ他へ出テ。家ニカヘルニハ。

コトサラニ。ツ
 クリ聲ヲ出シ
 テ物ヲトフ。家
 内ノ者。オウト
 答テイデ來レ
 バ。手ヲ拍テ。コ



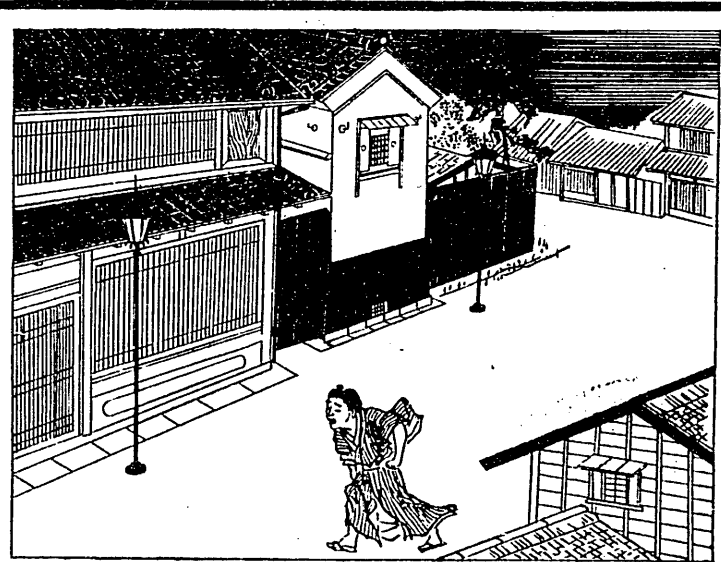
レヲ晒ヘリススルコト。度々ナリシガ。或日。此家ニトリテハ。實ニ。危難ノ一事ヲ身ニ受テ。内外ノ周旋ニ。心ヲイタムル。大恩アル人來テ。案内ヲ乞ヒシニ。家内ノ者ドモ。亦例ノ

夕ハフレナラント。想ヒ定メテ。直ニ出ザルノミナラズ。口々ニ嘲リテ。大ニ之ヲ笑ヒケレバ。彼人。フカク憤テ。カノ承ケ引タル。難事ヲ破談シ。永ク交誼ヲ。夕チケリト云

第五

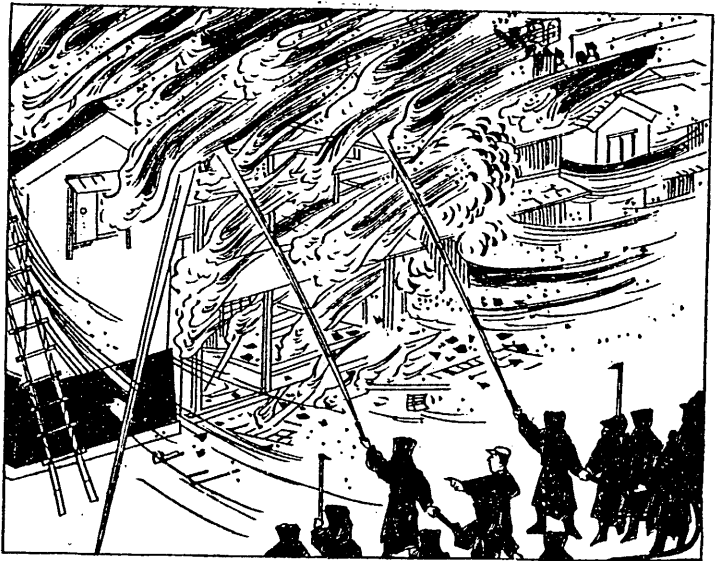
又ある處に一男兒あり。人を欺き。わらふを以て戲まどし。夜に乗ドて。近隣をはせまへり。以つて里て。火事おこれり。火事おこれり。と呼けまば。人

々あわて。かけ出るを見て。ひそかに笑ひ樂めり。一夜この兒。あやまちて。洋燈をど里墜しける。其火。障子に燃らつ里て。たちまち大事に及びけまむ。うるたへ騒ぎて。戶外



よいで。火事お
これり。火事お
これり。と呼け
まごも。誰も毎
にあざむかま
さるを。恥いか

里て。おれを救
え。人々來り
集りける頃よ
い。火焰猛烈に
して。近づきが
たき。あまさは



なきむ。一物をまゝ出し得む。
て。みるく其家。やけ落たり
サレバ平生。虚言ヲ以テ。人ヲ
欺キ笑フ者ハ。タマク眞實ノ
コトヲ。告グトイヘドモ。信ト
ナス者アラザル故ニ。カクノ

如キ災害ニ遇ヒテ。ハカラヌ
不幸ニ陥リタリ。慎ムベキコ
トニアラズヤ

編小學讀本
第五

新育書院

新編小學讀本第五畢

版權免許

明治十九年一月廿五日

再版御届

同五月廿八日

校正三版御届

明治二十年一月十七日

定價金五錢五厘

編輯者

愛知縣士族
三尾重定

出版者

東京府士族
岩田富美

出版并
發賣人

東京府士族
吉澤富太郎

淺草區西鳥越町十番地

本所區松井町三町早番地

